

三保松原・老齢大木の樹勢回復状況

— 全体的に緩やかな回復傾向 —



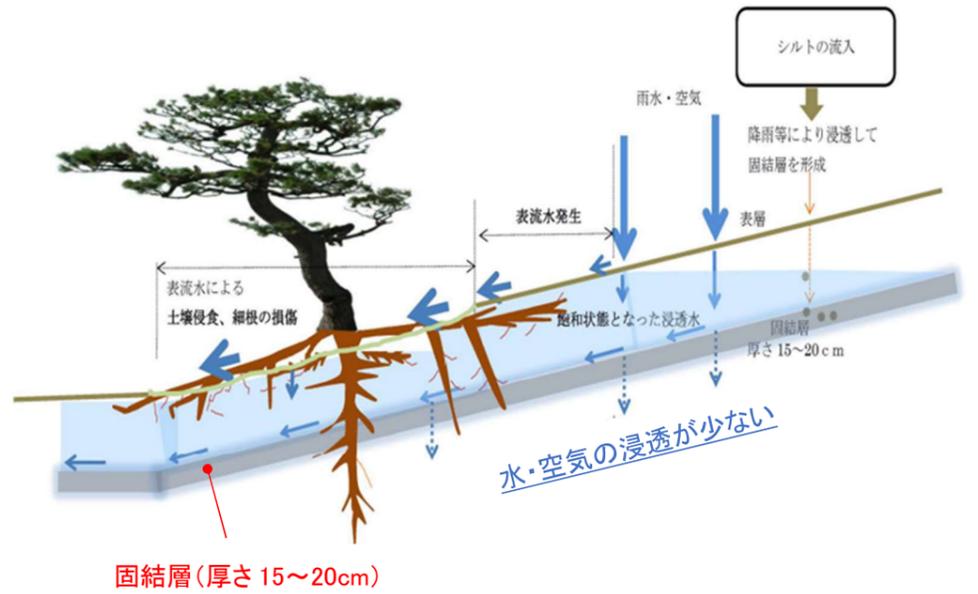
技術情報 VOL.4-2

(調査・検証) 一般財団法人三保松原保全研究所 R6. 10

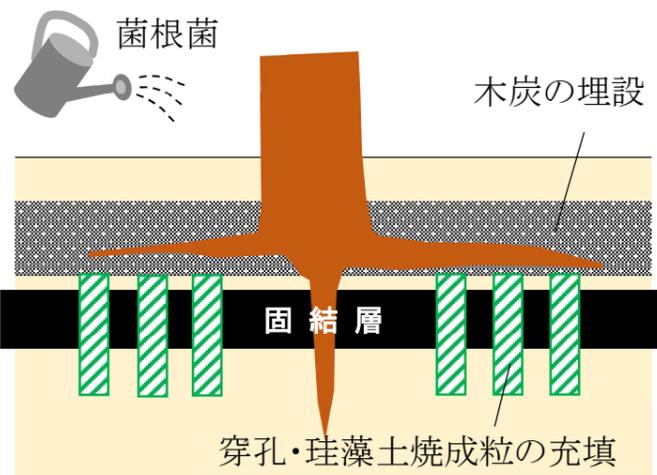
●背景・目的

平成 26 年度に「羽衣の松」の樹勢の衰えが確認され、その原因として、来訪者の踏圧により形成された土壌の“固結層”が根や菌根の生育を阻害していることが明らかになった。

このため平成 28 年度から、「羽衣の松」と周辺の老齢大木を対象に、木炭と菌根菌による土壌改良が進められた。



●基本的な施工方法



対象となる老齢大木から放射状に固結層を除去・穿孔した上で、土壌改良材(木炭・珪藻土焼成粒)を埋設し、マツと共生しその生育を助ける「菌根菌」の胞子を散布した。

← 施工状況(木炭埋設時点)

●結果

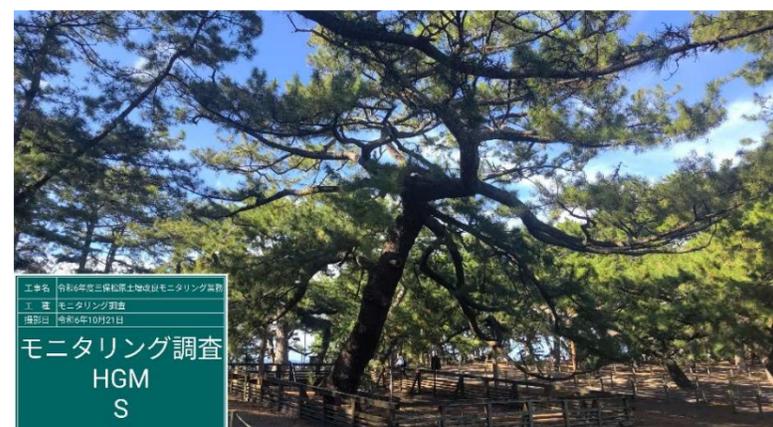
平成 28～29 年度施工のマツ 16 本について、樹勢モニタリングを行っている。

令和 6 年度は全てのマツとも前年度と同じ評価となった。

ただし、全体的な樹勢には直接現れていないものの、一部のマツにネキリムシによる細根の食害や、大雨による砂の流亡の影響と思われる枝枯れの発生などが見られたため、再び樹勢が悪化する前に、害虫対策や砂の流亡対策などを講ずる必要があるものと考えられる。

樹勢回復状況一覧(改良前▶R6)

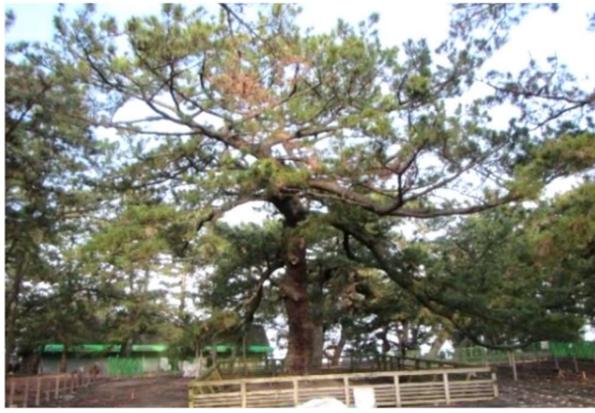
判定	H28年度改良分											H29年度改良分				
	羽衣の松	老齢大木											老齢大木			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4
◎ 良		◎	◎					◎					◎			
○ やや不良	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 不良	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
△ 著しく不良								△								
× 枯死寸前																



樹勢が回復基調にある羽衣の松 (R6. 10 月)

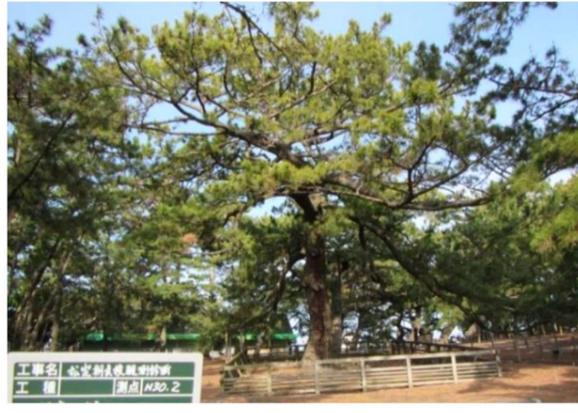
樹勢凡例 ▲ 著しく不良 ■ 不良 ● やや不良 ● 良

羽衣の松の樹勢推移



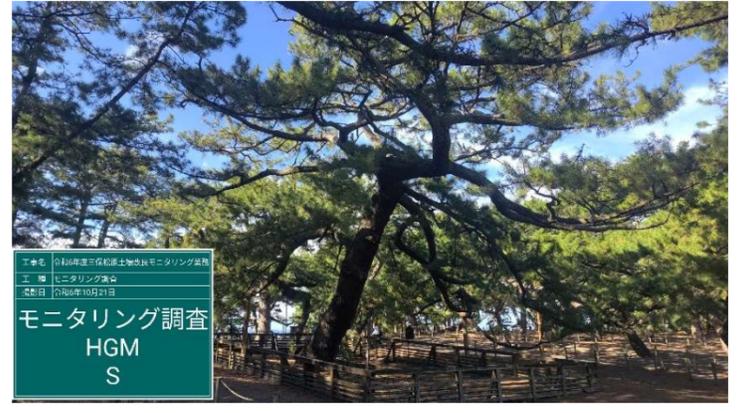
平成 28 年 10 月 (土壌改良前)

※葉量少なく枯枝あり



平成 29 年 10 月 (改良 1 年後)

※葉量回復し、枯枝なし



令和 6 年 10 月

※新枝の伸長等は安定している